

2011年度

科目名	観光ビジネス		
担当教員	下川 成一		
配当	人社3	コード	53063
開期	前期	講時	金曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	日本の観光ビジネスの現状とその問題点		
目的と概要	<p>2008年に「観光立国」の実現を目指して観光庁が創設されて以来、「観光」が我が国の将来的な発展のための重要な国家戦略として、その発展に向けてさまざまな取り組みが行われている。</p> <p>しかし、1964年の海外旅行の自由化以降、日本人の出国旅行者数は右肩上がり、年間約1700万人に達したものの、この数年は経済状況や世界情勢により前年度を下回る現状である。一方、日本を訪れる外国人の旅行者数は、その半数にも満たない約800万人に過ぎず、これは、世界で一番外国人観光客が訪れるフランス(約7500万人)の約1割強でしかない。</p> <p>この講義では、海外旅行の自由化から46年、1970年代の高度経済成長による旅行ブームを背景に、飛躍的に発展しながらも様々の問題を抱える日本の「観光ビジネス」の現状と、「観光立国」として成功しているヨーロッパ諸国の現状とを比較し、その問題点を探っていきます。</p>		
成績評価法	学期末にレポート提出(70%)+平常点(30%)		
テキスト	特に定めません(講師作成の資料コピーを使用します)		
参考書	必要に応じて紹介します		
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	観光ビジネスは経済情勢、世界情勢に密接に関連していますので、新聞、TVのニュース番組、及び海外世界遺産を取り上げた番組等を見るように心がけて下さい。		
講義計画			
第1回	オリエンテーション・この授業を学ぶ意義		
2回	旅行業界の歴史と現状		
3回	旅行業界の分類と法的規制		
4回	航空業界の歴史・現状と課題		
5回	旅館・ホテル業界の現状と課題		
6回	娯楽関連業界の現状と課題		
7回	観光立国スイスの現状		
8回	観光立国フランスの現状		
9回	観光立国スペインの現状		
10回	観光立国イタリアの現状		
11回	ビジネスモデルの変化(ニーズの多様化)		
12回	ビジネスモデルの変化(オンラインビジネス)		
13回	インバウンドビジネスの歴史と現状		
14回	インバウンドビジネスの課題(中国人市場)		
15回	まとめ(将来の展望と課題)		